

Jean-FERDINAN CHAIGNEAU

ジャン＝フェルディナン、シェノー (1830～1906)



作品名 羊飼いの女と羊たち

種類 油彩

サイズ サイズ 18.8×24cm (仏F2号)

略 歴

動物画家および風景画家。ボルドーに生まれたシェノーは、1849年パリの美術学校に入り、当時動物画家として名を成していたブラカサに学んだ。

しかしブラカサの動物画になじまず、1858年シャルル・ジャックを慕ってバルビゾンの村に移住する。ジャックと同様の主題、羊の群れを描いたが、コローやドービニーの影響も受け、抒情的な羊のいる風景を描いた。その優雅さゆえに、シェノーは<羊のラファエロ>の異名を取った。1870年バルビゾンの村に自分の家を持つ。彼はその家を「羊小屋」と名づけ、羊の群れが見えるように一階の畑に面している部屋をアトリエにしていた。

Jean-FERDINAN CHAIGNEAU

ジャン＝フェルディナン、シェノー (1830～1906)



作品名 家路に就く羊飼い

種類 キャンバス油彩

サイズ サイズ 46×61.5cm (仏 12号)

MICHEL RODRIGUE 鑑定書付き

略 歴

動物画家および風景画家。ボルドーに生まれたシェノーは、1849年パリの美術学校に入り、当時動物画家として名を成していたブラカサに学んだ。

しかしブラカサの動物画になじまず、1858年シャルル・ジャックを慕ってバルビゾンの村に移住する。ジャックと同様の主題、羊の群れを描いたが、コローやドービニーの影響も受け、抒情的な羊のいる風景を描いた。その優雅さゆえに、シェノーは「羊のラファエロ」の異名を取った。1870年バルビゾンの村に自分の家を持つ。彼はその家を「羊小屋」と名づけ、羊の群れが見えるように一階の畑に面している部屋をアトリエにしていた。